

2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2022年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ファンケル  
 コード番号 4921  
 代表者 (役職名)代表取締役社長執行役員CEO  
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員 経営企画本部長  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月12日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家・アナリスト向け)

URL <https://www.fancl.jp/>

(氏名)島田 和幸

(氏名)小峰 雄平

(TEL)045-226-1200

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	25,610	1.7	1,737	△42.3	1,956	△39.6	1,168	△47.5
2022年3月期第1四半期	25,176	△4.3	3,010	23.1	3,242	29.3	2,227	50.8

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 1,246 百万円 (△46.4%) 2022年3月期第1四半期 2,327 百万円 (58.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	9.67	9.63
2022年3月期第1四半期	18.46	18.38

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	100,744	73,942	72.8
2022年3月期	100,121	74,073	73.3

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 73,302 百万円 2022年3月期 73,432 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	17.00	—	17.00	34.00
2023年3月期	—				
2023年3月期(予想)		17.00	—	17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	51,160	2.6	3,600	△30.4	4,100	△26.2	2,700	△33.7	22.33
通期	109,400	5.2	10,400	6.4	11,000	5.8	7,450	0.4	61.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名)、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期1Q	130,353,200株	2022年3月期	130,353,200株
2023年3月期1Q	9,431,541株	2022年3月期	9,677,463株
2023年3月期1Q	120,848,804株	2022年3月期1Q	120,665,289株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注) 期末自己株式数には、役員報酬BIP信託が保有する当社株式(2023年3月期1Q 211,313株、2022年3月期 211,500株)が含まれております。また、役員報酬BIP信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書 .....	7
四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(会計方針の変更) .....	9
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の売上高は、主力の化粧品関連事業、栄養補助食品関連事業が増収となり、全体では25,610百万円(前年同期比1.7%増)となりました。営業利益は、売上増により売上総利益が増加したものの、お客様基盤拡大のために広告宣伝費を積極的に使用したことなどにより、1,737百万円(前年同期比42.3%減)となりました。経常利益は1,956百万円(前年同期比39.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,168百万円(前年同期比47.5%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

## ①化粧品関連事業

## 売上高

化粧品関連事業の売上高は、14,885百万円(前年同期比2.6%増)となりました。

	2022年3月期 前第1四半期連結累計期間		2023年3月期 当第1四半期連結累計期間		伸び率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
ファンケル化粧品	10,507	72.5	10,882	73.1	3.6
アテニア化粧品	3,456	23.8	3,469	23.3	0.4
boscia(ボウシャ)	321	2.2	233	1.6	△27.2
その他	221	1.5	300	2.0	35.9
合計	14,506	100.0	14,885	100.0	2.6

	2022年3月期 前第1四半期連結累計期間		2023年3月期 当第1四半期連結累計期間		伸び率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
通信販売	7,508	51.7	7,795	52.4	3.8
店舗販売	3,249	22.4	3,281	22.0	1.0
卸販売他	1,998	13.8	2,364	15.9	18.4
海外	1,751	12.1	1,443	9.7	△17.6
合計	14,506	100.0	14,885	100.0	2.6

**ファンケル化粧品**は、広告宣伝を強化した「エンリッチプラス」「マイルドクレンジング オイル」などが堅調に推移したことに加え、新発売した「泥ジェル洗顔」の寄与により、10,882百万円(前年同期比3.6%増)となりました。

**アテニア化粧品**は、海外が中国ロックダウンの影響により減収となったものの、国内は「スキんクリア クレンジング オイル」や、スペシャルケア製品が好調で、全体では3,469百万円(前年同期比0.4%増)となりました。

**boscia(ボウシャ)**は、リアル店舗向けの卸販売が振るわず、233百万円(前年同期比27.2%減)となりました。

**販売チャネル別**では、通信販売は7,795百万円(前年同期比3.8%増)、店舗販売は3,281百万円(前年同期比1.0%増)、卸販売他は2,364百万円(前年同期比18.4%増)、海外は1,443百万円(前年同期比17.6%減)となりました。

## 営業損益

損益面では、売上増により売上総利益が増加したものの、広告宣伝費を積極的に使用したことなどにより、営業利益は1,517百万円(前年同期比27.2%減)となりました。

## ②栄養補助食品関連事業

## 売上高

栄養補助食品関連事業の売上高は、9,182百万円(前年同期比2.2%増)となりました。

	2022年3月期 前第1四半期連結累計期間		2023年3月期 当第1四半期連結累計期間		伸び率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
通信販売	4,176	46.5	4,339	47.2	3.9
店舗販売	1,535	17.1	1,345	14.7	△12.4
卸販売他	2,349	26.1	2,723	29.7	15.9
海外	926	10.3	773	8.4	△16.5
合計	8,988	100.0	9,182	100.0	2.2

**製品面**では、広告宣伝を強化した「内脂サポート」が好調に推移したことに加え、「年代別サプリメント」などが伸長し、増収となりました。

**販売チャネル別**では、通信販売は4,339百万円(前年同期比3.9%増)、店舗販売は1,345百万円(前年同期比12.4%減)、卸販売他は2,723百万円(前年同期比15.9%増)、海外は773百万円(前年同期比16.5%減)となりました。

## 営業損益

損益面では、相対的に原価率の高い卸販売他の売上構成比が高まったことによる売上総利益率の悪化に加え、広告宣伝費を積極的に使用したことなどにより、営業利益は599百万円(前年同期比54.9%減)となりました。

## ③その他関連事業

## 売上高

その他関連事業の売上高は、1,541百万円(前年同期比8.4%減)となりました。

	2022年3月期 前第1四半期連結累計期間	2023年3月期 当第1四半期連結累計期間	伸び率 (%)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	
発芽米	519	493	△5.0
青汁	494	466	△5.7
その他	667	581	△12.9
合計	1,682	1,541	△8.4

## 営業損益

損益面では、減収となったものの、発芽米の売上総利益率の改善などにより売上総利益が増加し、営業利益は14百万円(前年同期は29百万円の営業損失)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

資産は、前連結会計年度末に比べて623百万円増加し、100,744百万円となりました。この要因は、流動資産の増加777百万円および固定資産の減少153百万円であります。流動資産の増加の主な要因は、現金及び預金の増加233百万円と、前払費用の増加などによる流動資産「その他」の増加667百万円および商品及び製品の減少176百万円であります。固定資産の減少の主な要因は、有形固定資産の減少861百万円と、長期前払費用の増加などによる投資その他の資産「その他」の増加764百万円であります。

負債は、前連結会計年度末に比べて754百万円増加し、26,802百万円となりました。この要因は、流動負債の増加517百万円と、固定負債の増加236百万円であります。流動負債の増加の主な要因は、賞与引当金の増加628百万円、契約負債の増加244百万円と、未払消費税等の増加などによる流動負債「その他」の増加369百万円および買掛金の減少646百万円であります。固定負債の増加の主な要因は、役員株式給付引当金の増加37百万円と、リース債務等の増加などによる固定負債「その他」の増加184百万円であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて130百万円減少し、73,942百万円となりました。この主な要因は、配当金の支払いによる利益剰余金の減少2,055百万円と、親会社株主に帰属する四半期純利益計上による利益剰余金の増加1,168百万円および自己株式処分による自己株式の減少501百万円と、資本剰余金の増加175百万円であります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末から0.5ポイント下落し、72.8%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向等を踏まえ、2022年5月10日の決算発表時に公表した2023年3月期(2022年4月1日～2023年3月31日)の連結業績予想を以下のとおり修正いたしました。

## ①2023年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 52,760	百万円 4,300	百万円 4,370	百万円 3,000	円 銭 24.86
今回修正予想(B)	51,160	3,600	4,100	2,700	22.33
増減額(B-A)	△1,600	△700	△270	△300	—
増減率(%)	△3.0	△16.3	△6.2	△10.0	—
(ご参考)前期実績 (2022年3月期第2四半期)	49,876	5,171	5,558	4,070	33.73

## ②2023年3月期通期連結業績予想数値の修正

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 111,000	百万円 11,100	百万円 11,250	百万円 7,700	円 銭 63.81
今回修正予想(B)	109,400	10,400	11,000	7,450	61.61
増減額(B-A)	△1,600	△700	△250	△250	—
増減率(%)	△1.4	△6.3	△2.2	△3.2	—
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	103,992	9,771	10,401	7,421	61.50

国内事業はお客様基盤拡大のための戦略的な広告投資を行ったことなどにより、計画通りに進捗しています。一方、海外事業が中国ロックダウンの影響により、計画を下回って推移しています。ロックダウン解除後の売上回復も遅れていることから、2023年3月期第2四半期連結累計期間および通期の連結業績について、売上高および各利益の予想を修正することといたしました。なお、営業外収益として円安による為替差益の計上を見込んでいます。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	30,108	30,341
受取手形及び売掛金	11,916	12,029
商品及び製品	5,518	5,342
原材料及び貯蔵品	5,610	5,546
その他	2,553	3,220
貸倒引当金	△101	△98
流動資産合計	55,605	56,382
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	34,715	34,434
減価償却累計額及び減損損失累計額	△19,103	△19,286
建物及び構築物(純額)	15,611	15,147
機械装置及び運搬具	16,783	16,851
減価償却累計額及び減損損失累計額	△10,326	△10,696
機械装置及び運搬具(純額)	6,456	6,154
工具、器具及び備品	9,981	9,899
減価償却累計額及び減損損失累計額	△8,435	△8,399
工具、器具及び備品(純額)	1,546	1,499
土地	14,214	13,914
リース資産	205	355
減価償却累計額及び減損損失累計額	△127	△152
リース資産(純額)	78	203
その他	-	114
減価償却累計額及び減損損失累計額	-	△8
その他(純額)	-	106
建設仮勘定	34	53
有形固定資産合計	37,941	37,080
無形固定資産		
その他	2,587	2,530
無形固定資産合計	2,587	2,530
投資その他の資産		
投資有価証券	125	125
その他	3,860	4,625
投資その他の資産合計	3,986	4,751
固定資産合計	44,516	44,362
資産合計	100,121	100,744

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	3,431	2,784
未払法人税等	1,271	1,193
契約負債	2,461	2,705
賞与引当金	1,234	1,862
資産除去債務	2	3
その他	5,971	6,341
流動負債合計	14,373	14,890
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	10,100	10,087
役員株式給付引当金	108	145
退職給付に係る負債	880	907
資産除去債務	496	497
その他	89	274
固定負債合計	11,675	11,911
負債合計	26,048	26,802
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,795	10,795
資本剰余金	12,003	12,178
利益剰余金	70,766	69,880
自己株式	△20,003	△19,501
株主資本合計	73,561	73,351
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	100	158
退職給付に係る調整累計額	△228	△208
その他の包括利益累計額合計	△128	△49
新株予約権	640	640
純資産合計	74,073	73,942
負債純資産合計	100,121	100,744



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	25,176	25,610
売上原価	8,375	8,336
売上総利益	16,800	17,273
販売費及び一般管理費	13,790	15,536
営業利益	3,010	1,737
営業外収益		
受取利息	13	12
受取配当金	0	0
受取賃貸料	35	30
為替差益	160	184
雑収入	31	62
営業外収益合計	241	289
営業外費用		
支払利息	0	0
固定資産賃貸費用	3	2
貸倒引当金繰入額	-	50
雑損失	4	18
営業外費用合計	8	70
経常利益	3,242	1,956
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除却損	4	2
減損損失	-	0
店舗閉鎖損失	9	-
その他	1	-
特別損失合計	16	2
税金等調整前四半期純利益	3,225	1,954
法人税、住民税及び事業税	794	1,079
法人税等調整額	204	△293
法人税等合計	998	785
四半期純利益	2,227	1,168
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,227	1,168

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	2,227	1,168
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	82	58
退職給付に係る調整額	18	20
その他の包括利益合計	100	78
四半期包括利益	2,327	1,246
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,327	1,246
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(米国財務会計基準審議会会計基準編纂書(ASC)第842号「リース」の適用)

米国会計基準を採用している在外連結子会社は、当第1四半期連結会計期間の期首より、ASC第842号「リース」を適用しております。これにより、当該在外連結子会社における借手のリース取引については、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産および負債として計上することといたしました。当該会計基準の適用にあたっては、経過措置で認められている、当該会計基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首において、使用権資産は有形固定資産の「その他」に、リース債務は流動負債の「その他」および固定負債の「その他」に含めて表示しております。なお、当該会計基準の適用による四半期連結損益計算書に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	化粧品 関連事業	栄養 補助食品 関連事業	その他 関連事業 (注) 1			
売上高						
外部顧客への売上高	14,506	8,988	1,682	25,176	—	25,176
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	14,506	8,988	1,682	25,176	—	25,176
セグメント利益又は損失(△)	2,083	1,328	△29	3,382	△372	3,010

(注) 1 「その他関連事業」は、雑貨、装身具類、肌着類、発芽米、青汁等で構成されております。

2 セグメント利益又は損失の調整額△372百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれており、その主なものは、報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務部門等に係る費用であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	化粧品 関連事業	栄養 補助食品 関連事業	その他 関連事業 (注) 1			
売上高						
外部顧客への売上高	14,885	9,182	1,541	25,610	—	25,610
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	14,885	9,182	1,541	25,610	—	25,610
セグメント利益	1,517	599	14	2,131	△394	1,737

(注) 1 「その他関連事業」は、雑貨、装身具類、肌着類、発芽米、青汁等で構成されております。

2 セグメント利益の調整額△394百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれており、その主なものは、報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務部門等に係る費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。